

黒毛和種種牛審査標準

総称	審査項目	審査細目	説明	標点					
				減率協定				最良	
				雌	雄	雌	雄		
肉用種の特徴(50)	増体性 飼料利用性 早熟性	体積(50)	体積	月齢に応じた良好な発育をし、体軀広く、深く、伸びよく、体積豊かなもの。栄養適度で、肉付均等、各部の移行なだらかなもの。	18	18	20	17	6
			前軀	幅と張りともに富み、充実し、深いもの。 胸は広く、深く、胸底平らで、胸前、肘後ともに充実しているもの。 肩は胸及びきこう部への移行なだらかで、肩後は充実しているもの。	6	6	18	16	6
			中軀	幅と張りともに富み、深く、伸びのよいもの。 背腰は広く、長く、強く、平直であるもの。 肋は付きがよく、角度大でよく張り、長く、肋間の広いもの。腹は豊かで、ゆるくなく、後方まで深いもの。	12	12	16	14	4
			後軀(尻・腿)	尻は腰角、かん、坐骨ともに幅広く、長く、傾斜少なく、形よく、充実しているもの。腰角は突出せず、十字部は平らで、かんの位置よく、せん骨は高くなく、尾は付着よく、まっすぐにさがったもの。 腿は上腿、下腿ともに広く、厚く、充実し、腿下がりのよいもの。	14	14	22	19	10
種牛性(50)	体軀構成健全性	均称(18) 肢蹄・歩様	均称	頭、頸、体軀、四肢相互が月齢に応じた釣合いをし、前、中、後軀の釣合いよく、体上線、体下線ともに平直で、体軀が充実しているもの。	12	12	20	17	6
			肢蹄・歩様	肢勢は正しく、関節は強く鮮明で、筋けんはよく発達し、肢の長さは体の深さに釣合い、蹄は大きく厚いもの。歩様は確実で、肢の運びのまっすぐなもの。	6	8	22	20	12
	繁殖性 連産性 長命性	品位(17)	品位	輪郭鮮明で体緊り、骨緊りともによく、品位に富み、雌雄それぞれの性相を現わし、性質温順なもの。 肩は緊密に付着し、ほどよく傾斜し、肩端の突出していないもの。 性器は正常なもの。	12	12	20	17	6
			頭頭	頭部は形よく、鮮明で、体軀に釣合っているもの。額は平らで広く、鉢緊りよく、眼はいきいきとして温和なもの。頬は豊かで、顎は張り、鼻梁は長さ適度で、口は大きいもの。耳は大きさ中等で、項は広いもの。 頸は短めで、頭部と前軀への移行よく、雌は厚さ適度で、顎垂少なく、雄は厚く、頸峯と胸垂は適度に発達しているもの。	5	6	22	20	10
	資質	資質(8)	資質	資質のよいもの。 被毛は黒く、わずかに褐色をおび、光沢があり、細かく柔らかく、密生しているもの。 皮膚はゆとりがあり、厚さ適度で、柔らかく、弾力に富むもの。 角、蹄は質ちみつで、色沢よく、管は平骨で鮮明なもの。	8	8	20	17	6
泌乳性 哺育性	乳徴(7)	乳徴	乳房は均等によく発達し、容積があり、質は柔軟で弾力があるもの。乳頭は配置よく、大きさ適度で、柔らかく、乳脈はよく発達しているもの。	7	4	20	19	6	
合計				100	100	80.1	82.6	93.1 (93.0)	

成牛(雌 35 ヲ月、雄 40 ヲ月)の体型及び体重の目標

性	体高	十字部高	体長	胸囲	胸深	胸幅	尻長	腰角幅	かん幅	坐骨幅	体重
雌	130	130(100)	157(121)	190(146)	70(54)	48(37)	54(42)	52(40)	48(37)	33(25)	520
雄	147	143(97)	182(124)	223(152)	81(55)	58(39)	62(42)	57(39)	56(38)	38(26)	860

注：(1) 目標値はすべて集団の目標値(最頻値)を示している。(2) 単位cm、体重kg、()内は体高比

◎統合部位における重点のおき方

- (1) 前軀 胸に2、肩に1のウエイトをおく
- (2) 中軀 背腰に2、肋腹に1のウエイトをおく
- (3) 後軀 尻に1、腿に1のウエイトをおく

◎測定部位および減率記載項目

イ. 測定部位

種雄牛、同候補牛、83点以上の登録牛(高等登録牛を含む)の場合は全部位及び体重。

以上の牛以外の場合は体高、胸囲、胸深、尻長、かん幅及び体重。記載法審査の場合は体高、体長、胸囲、胸深、かん幅、坐骨幅及び体重。なお体重については、牛衡器で測定したもの(牛衡器のない場合は秤量しなくてもやむを得ない)。

ロ. 栄養度

栄養状態を1(非常にやせている)、2(やせている)、3(やややせている)、4(やせ気味)、5(普通)、6(太り気味)、7(やや太っている)、8(太っている)、9(非常に太っている)の数字で示す。

ハ. 減率記載項目

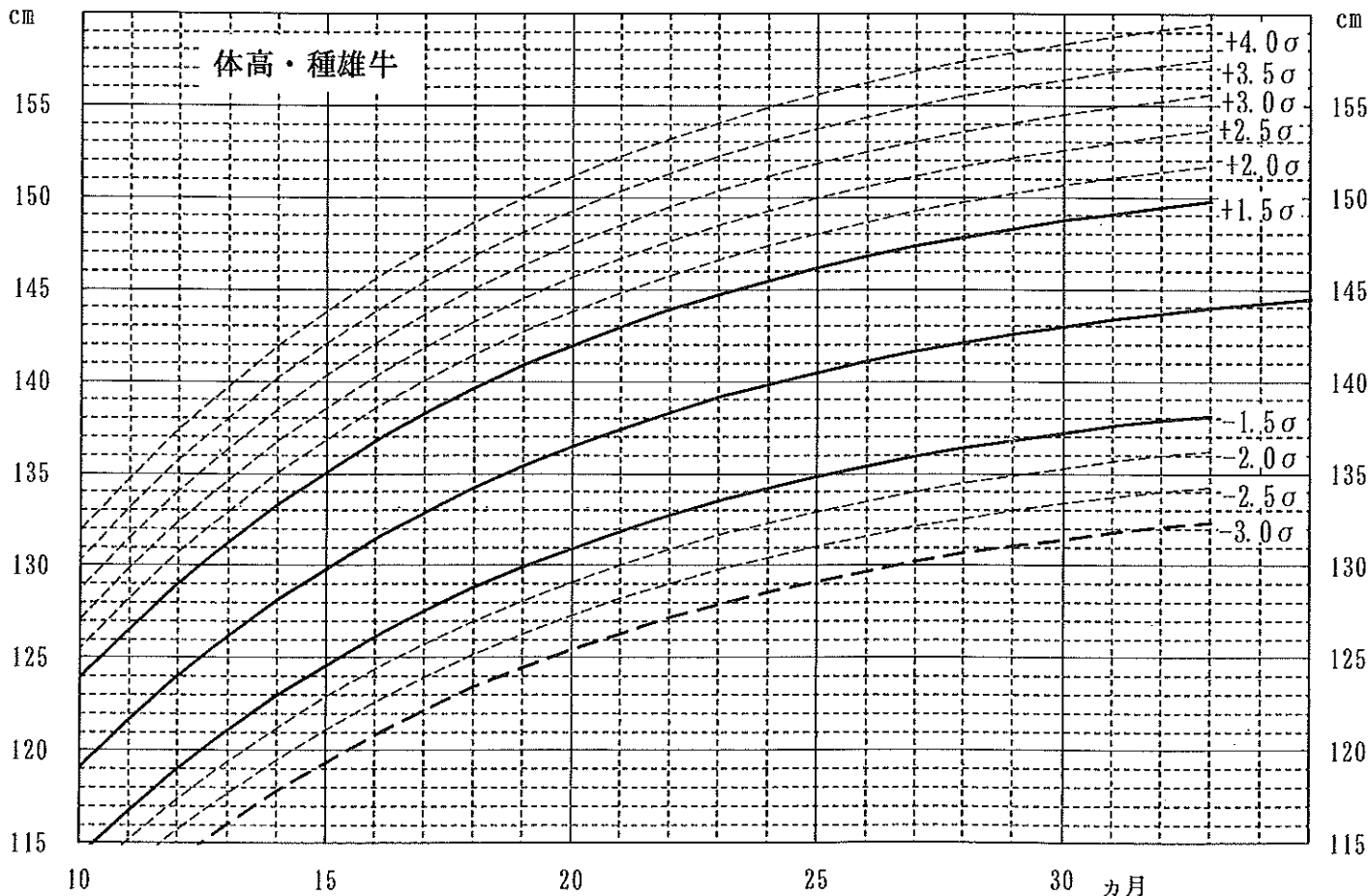
全項目の減率を記載する。

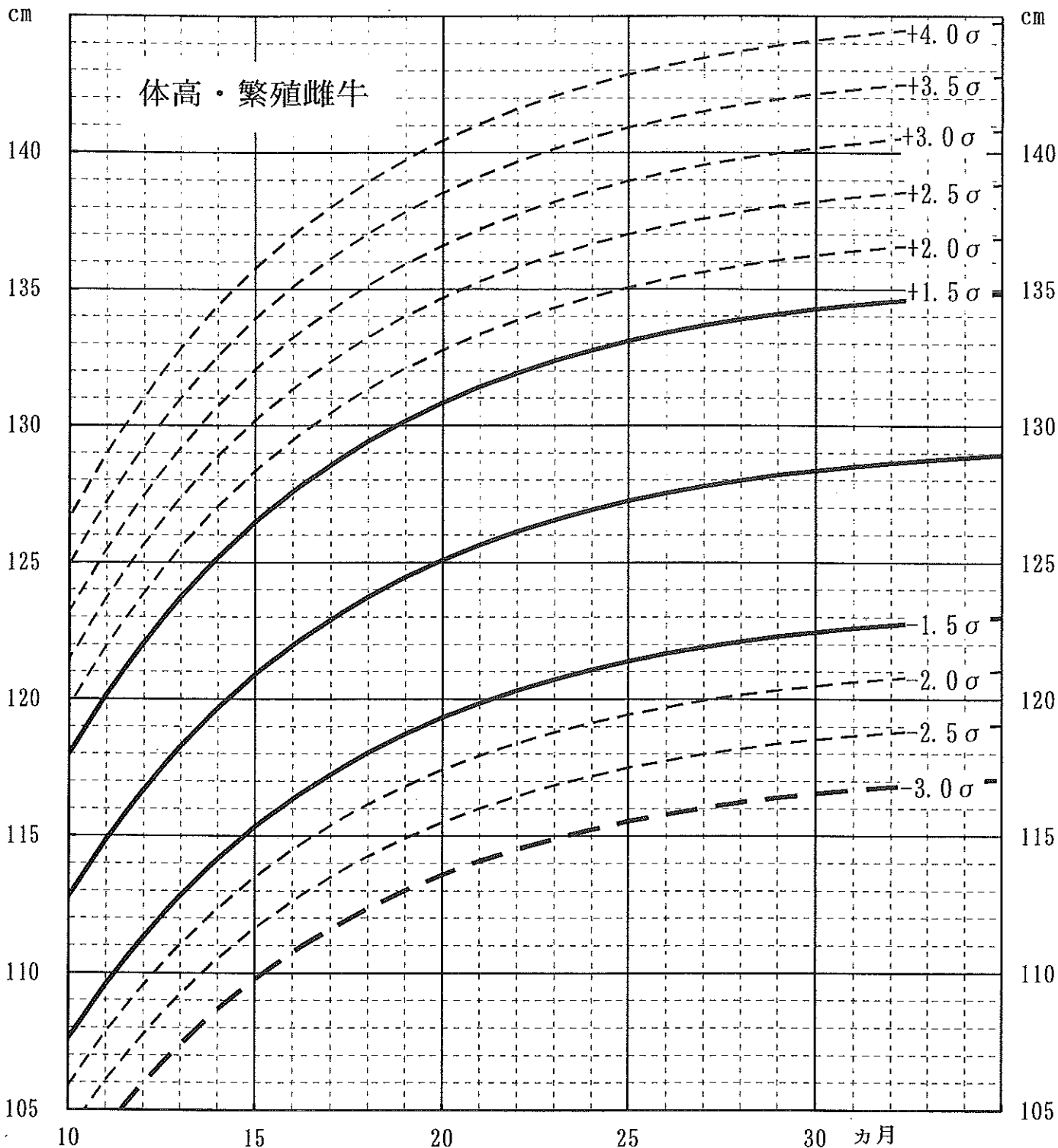
◎失格として取扱われるもの

- イ. 異毛色
- ハ. 50%以上の減率の審査項目のあるもの
- ホ. 先天性奇形（本牛の形状）
- ロ. 乳房部（雌）、恥骨部（雄）以外の顕著な白斑
- 二. 乳頭不足、正常乳頭のゆ着

◎損徴における減率加算

- イ. 被毛・皮膚の異常（資質の項目に加算（品位の項目においても考慮する））
 - (1) 毛色が淡いもの（季節的な淡色で程度の甚だしくないものは減点せず） ----- 2~20%
 - (2) 全身刺毛 ----- 2~20%
 （軽微にして、望見により刺毛を識別し得ないものは減点せず。また局部的刺毛はとくに甚だしい場合のほかは減点せず）
 - (3) 鰻線・背赤 ----- 2~4%
 （単独に存する鰻線又は背赤で、季節的なもの、放牧によるもの、その他顕著でないものは減点せず）
 - (4) 底すだれ（局部的な季節的底すだれは減点せず） ----- 2~6%
 - (5) 痣（小痣は減点せず） ----- 2~10%
 - (6) 糊口、鰻線、鉢巻、内股淡色、白角等のうち2つ以上をあわせ備えたもの ----- 2~20%
 - (7) 蜂目、耳内赤、乳頭赤、肛門赤等のうち2つ以上をあわせ備えるか、又はこれらのいずれかと、尾房褐、鉢巻、鰻線等のいずれかとをあわせ備えたもの ----- 2~20%
 - (8) 乳房部（雌）、恥骨部（雄）以外に小白斑のあるもの ----- 2~10%
- ロ. 乳頭の異常（乳徴の項目に加算）
 - 4本の乳頭のうち1~4本が短小なもの（いずれの乳頭端にも孔（点）がなければならぬ） ----- 5~20%
- ハ. 季肋骨の異常については減率加算をしない。
 （望見又は触査によってそれを認められるときは、中軀全体としての減率が多くなる）
- ニ. 舌の異常（資質の項目に加算（品位の項目においても考慮する））
 - 乳房部、恥骨部以外に小白斑があるか、又は甚だしい白角の場合にのみ舌色を検し、白舌（桃舌）又は口接と、小白斑又は白角との両者が存するもの ----- 2~20%
- ホ. 後天的な欠陥にして不慮の傷害によるもの、及び除角されたものは残存原形又は関連部位について審査する。





◎登録審査時の発育基準

- (1) 体高が各月齢において、発育曲線の上限・下限の間にあるものは、減率加算しない。
ただし、上限をオーバー、又は下限に達しない場合は、 $\pm 2\sigma$ 以内なら減率1%、 $\pm 2.5\sigma$ 以内なら2%、 $\pm 3\sigma$ 以内なら3%を体積の減率に加算する。 $+3\sigma$ 以上のものについては、 0.5σ を超えるごとに1%ずつを体積の減率に加算する。
- (2) 体高が各月齢において、 -3σ 未満のものは審査の対象としない。

◎栄養過多牛並びにやせすぎの牛の減率加算 (体積の項目に加算)

- (1) 栄養過多牛 栄養度7の場合：1% 栄養度8の場合：3%
(品位の項目においても考慮する)
- (2) やせすぎの牛 栄養度3の場合：-1% 栄養度2の場合：-2%
(体型のしっかりしたものに限る。なお、このような加算をした牛の場合は、肩幅、前背幅、腿の部位を審査する場合に、やせていることを若干考慮にいれて、これを行う)

栄養度1 (非常にやせている) および栄養度9 (非常に太っている) に該当するものは、原則として栄養改善のうえ、受審するよう指導する。

外貌記載法審査基準

(平成 24 年 4 月 1 日実施)

栄養度		2	3	4	5	6	7	8
項目		程度		1	2	3	4	5
発 育		低 い	やや低い	普 通	やや高い	高 い		
体積	前 軀 幅	狭 い	やや狭い	”	やや広い	広 い		
	中 軀 幅	”	”	”	”	”		
	後 軀 幅	”	”	”	”	”		
	肋 張 り	不 足	やや不足	”	ほぼ良い	良 い		
	体 の 伸 び	短 い	やや短い	”	やや長い	長 い		
	体 の 深 み	浅 い	やや浅い	”	やや深い	深 い		
	腿 の 側 望 の 幅	狭 い	やや狭い	”	やや広い	広 い		
	腿 の 厚 み	薄 い	やや薄い	”	やや厚い	厚 い		
腿さがり(禪)	短 い	やや短い	”	やや長い	長 い			
均称	均称	体 と 肢	短 脚	やや短脚	体軀と四肢の 釣合が良い	やや長脚	長 脚	
		前 中 後 軀	釣合を欠く	やや釣合を欠く	普 通	ほぼ釣り合っている	よく釣り合っている	
		体 上 線	ゆるい	ややゆるい	”	ほぼ強直	強 直	
	肢蹄	体 下 線	平直でない	やや平直でない	”	ほぼ平直	平 直	
		肢 勢	悪 い	やや悪い	”	ほぼ良い	良 い	
		強 さ	弱 い	やや弱い	”	やや強い	強 い	
品位	品位	被毛の密度	粗	やや粗	”	ほぼ密	密	
		被毛の質	粗 剛	やや粗剛	”	やや柔い	柔 い	
	頭頸	被毛の色	淡 色	やや淡色	”	やや濃い	濃 い	
		皮膚のゆとり	ゆとりがない	ややゆとりがない	”	ややゆとりがある	ゆとりがある	
乳徴	骨 味	骨 味	悪 い	やや悪い	”	ほぼ良い	良 い	
		乳房の容積	小さい	やや小さい	”	やや大きい	大 きい	
		乳房の質	かたい	ややかたい	”	やや柔い	柔 い	
		乳頭の間隔	狭い	やや狭い	”	やや広い	広 い	
		乳頭の大きさ	小さい	やや小さい	”	やや大きい	大 きい	

(注) 雄は乳徴を審査しない。

下記の4項目は測定値で判定を行う。

	体 高 (発 育)	体 長 (体の伸び)	胸 深 (体の深み)	後 軀 幅	
				か ん 幅	坐 骨 幅
【黒毛和種・繁殖雌牛】					
5	135 以上	160 以上	72 以上	49 以上	34 以上
4	131~135 未満	154~160 未満	69~72 未満	47~49 未満	32~34 未満
3	127~131 未満	148~154 未満	66~69 未満	45~47 未満	30~32 未満
2	123~127 未満	142~148 未満	63~66 未満	43~45 未満	28~30 未満
1	123 未満	142 未満	63 未満	43 未満	28 未満
【黒毛和種・種雄牛】					
5	152 以上	182 以上	82 以上	57 以上	38 以上
4	148~152 未満	176~182 未満	79~82 未満	54~57 未満	35~38 未満
3	144~148 未満	170~176 未満	76~79 未満	51~54 未満	32~35 未満
2	140~144 未満	164~170 未満	73~76 未満	48~51 未満	29~32 未満
1	140 未満	164 未満	73 未満	48 未満	29 未満

単位 cm